

(1)「新しき生活様式」を考えてみませんかーニューノーマル(新たなる日常)・・・ウイルスと共に生きるー

・ どの様なことが考えられますか！？ ・ 何が、どの様に変わりますか ……想像してみましょう!!

< 例示 >

⇒ テレワークの進化 …… 都心の家賃の高い処に 本社機構が有る必要は？

…… 高密度の中で、机を並べた事務処理の必要は？

⇒ 三密 …… 店の接客対応 店員はむやみに声かけしない 人が多い店が良い評価にならない
ショッピング ネットで物色 最終確認で店に 試着・体にあてて確認 …… ダメ

…… 都心の会社集中がなくなる 地方で本社機能 世間の評価も好感度

…… 通勤・通学の電車がラッシュアワーにならなくなる 時差勤務 通勤手段

…… 劇場観劇 映画鑑賞 相当贅沢で高尚な趣味となり、高級感の時間・空間

⇒ 家族の日常 それぞれの時間帯で、それぞれが食事 たまに家族一同で外食
サザエさん家族的に一緒にの時間に全員で食卓・・・昔の事となるのか？！

⇒ 判子・文化 …… 承認の簡略化 どう考えますか！？

⇒ 現金使用 …… キャッシュレス化 日本のお札 綺麗・清潔 印刷技術 どうなる？

(2) 新型コロナウイルスの感染状況 どの状態になれば、日常の体制に戻して良いか！

⇒ 皆さん、それぞれの立場で考えて『私なら！？』 上手い理由・説明を補足願います。

(3) 自粛体制の緩和がされて来たら 貴方なら、『 先ず、何をしたいですか 』

⇒ 自粛の中で、見えてきたもの、考えた事 やっている事< 片付の作業・以外を >

⇒ 自粛の中で、大変美味しかったもの紹介 お店のものなら、お店を紹介！！

⇒ 歴史に学ぶ ビキニ環礁・水爆実験 放射能 アジア風邪・香港風邪 3・11 原発

(4) この際「ところざわ」を再認識してみましょう ー今昔物語ー

⇒ かいこ・繭培養 絹の需要・供給 明治・大正時代「たかはた」 所沢織物「湖月縮」

⇒ 飛行場開設 飛行学校 戦時下の街 明治 44 年～昭和 20 年

⇒ 戦後・基地の街 人口：2 万 3 千人程度 昭和 25 年 入間郡所沢町 ⇒ 市制化

⇒ 基地返還後 昭和 38 年～47 年首都圏への住宅(ドーナツ現象) オリンピック・バブル

⇒ 現在の所沢 どこへ向かう街